



千里第三小学校  
5年 学年だより  
2024年1月31日(水)

## 2月の学習予定

## 残り2か月です！

今年も昨年と同様に寒い日が多いですが、子どもたちは元気に長距離走やなわとびに励んでいます。6年生に向けて、残りの2か月間を大切に過ごしてほしいと思います。気の抜けない毎日が続きますが、感染を予防するために手洗いうがいをしっかりし、規則正しい生活を送れるよう、ご家庭でもお声かけを引き続きよろしくお祈りいたします。



## 2月の行事予定



月	火	水	木	金
1/29	30	31	2/1	2 5時間授業 14:00 下校
5	6	7 ほんわかタイム クラブ 6時間授業	8	9
12 振替休日	13 全校集会	14 4時間授業 太陽の広場	15	16
19	20	21 5時間授業 太陽の広場	22	23 天皇誕生日
26 参観6時間目 学級懇談会	27	28 委員会 6時間授業	29	3/1

### 3月の主な予定

卒業式予行(3/11)、卒業式前日準備(3/15)、卒業式(3/18)  
給食最終(3/21)、修了式(3/22)

国語…伝わる表現を選ぼう この本、おすすめします 提案しよう、言葉とわたしたち  
算数…割合2 いろいろなグラフ 立体  
社会…国土の自然とともに生きる  
理科…ものの溶け方 電流と電磁石  
音楽…威風堂々 春の海 声による世界の国々の音楽  
外国語…Lesson 8・9  
家庭科…ミシンにトライ! エプロン作り  
図工…切り絵、糸のこすいすい  
体育…ボール運動 持久走 なわとび  
総合…持続可能な社会に向けて  
道徳…二十分間の出来事 お客様 すれちがい

## お知らせとお願い



### ○参観・学級懇談会について

5年生最後の参観と学級懇談会を2月26日に予定しています。

参観：6時間目(14:30~15:15) 各教室にて  
学級懇談会：15:30~16:00 各教室にて

学級懇談会の内容は1年間の振り返りをお話できればと考えております。感染状況によっては変更になる可能性があります。変更の場合は連絡させていただきます。

### ○徴収金について

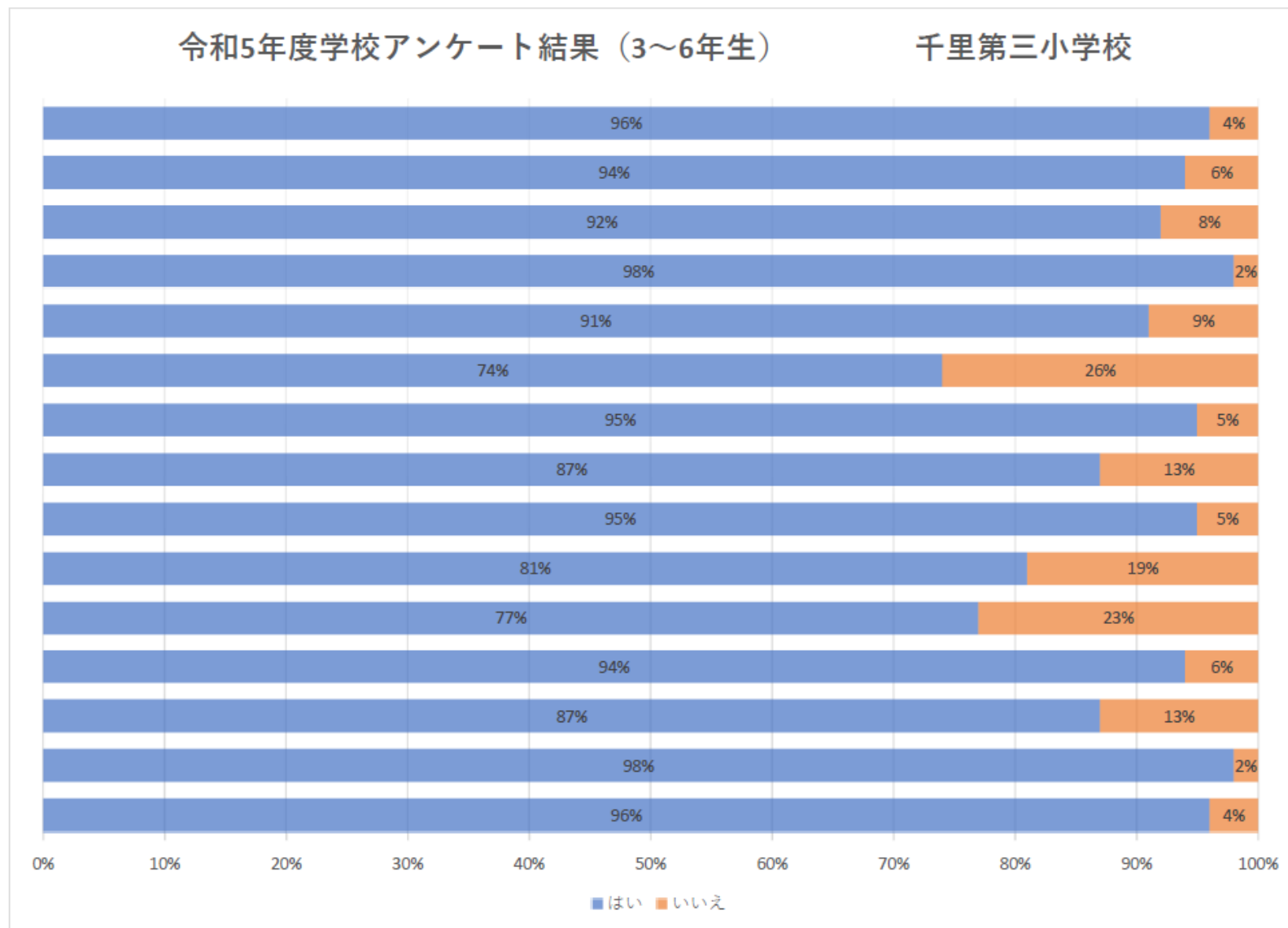
5年 5,800円 教材費 3,600円+PTA会費 600円+積立金 1,600円  
2学期に校外学習実施のため、年度当初より教材費 1,000円加算しています。

振替手数料については、手続きをされている金融機関によって異なります。

1月の学年だよりでもお知らせしていますが、1月31日が今年度最終期の振替になりますので、振替が可能であるよう、口座残高の確認をよろしくお願いいたします。

裏面に今年度の『児童アンケート』の結果を掲載していますので、ご覧ください。

1.学校へいくのが楽しい。
2.一緒に遊ぶ友だちがいる。
3.先生や友だちに元気よくあいさつをしている。
4.授業はわかりやすい。
5.授業や学級会で自分の意見をまとめたり、発表したりすることがある。
6.学校には、読みたい本やわからないことを調べる本がある。
7.先生は、学習で自分が努力したことを認めてくれる。
8.授業でわからないことなどについて、先生に質問しやすい。
9.先生は困っていること（いじめやなやみごと）について話を聞いてくれる。
10.学級の先生のほかにも、気軽に話したり相談できる先生がいる。
11.給食はすきだ。
12.地震や火災がおこった時、どうしたらよいかを教えてもらっている。
13.iPad を学習で積極的に使っている。
14.自分を大切にすることを学習することがある。
15.他人への思いやりを学習することがある。



「学校が楽しい」については、9割を超える子どもたちが肯定的な回答をしていました。今年度は、運動会や音楽発表会など多くの行事があり、子どもたちも充実感を得ることができた結果ではないかと考えられます。「一緒に遊ぶ友だちがいる」についても9割を超える子どもたちが肯定的な回答をしていました。子どもたち同士がつながりを持てるよう、地域や家庭の皆様が、見守り及びご協力をして頂いたからこそその結果であると考えております。学校でも、子どもたちの友だち関係を今後も見守っていきたいと思います。

また、昨年度課題となっていた「先生や友だちに元気よくあいさつをしている。」については、肯定的回答が9割を超える結果となりました。生活委員会が朝のあいさつ運動に取り組むなど、子どもたちの取り組みの成果であるとも考えられます。学校としても、引き続き、元気よくあいさつできる環境作りに努めてまいります。

しかしながら、「学校には、読みたい本やわからないことを調べる本がある。」では、他の項目に比べてやや肯定的な回答が低い結果となりました。図書室の本だけでなく、吹田電子書籍の積極的な活用を子どもたちにも促していくとともに、子どもたちのニーズに合わせた本の選別も今後の課題として考えていけたらと思います。